

H26 バスターズ通信 Vol.6



平成26年6月22日 (日)

バスターズ27名がご参加下さいました。宮城大学の学生と本吉響高校の生徒が参加し、にぎやかな作業となりました。人工産卵床では、今回もバス・ギルの産卵はありませんでした。稚魚すくいでは、バス稚魚の大きな群れは見られませんでした。群れから単独行動へ移ったバス稚魚が岸辺のあちこちにいたため、大勢で稚魚すくいを行ったことで、バス稚魚を効果的に駆除することができました。アイカゴでは、ブルーギルが25匹獲れました。定置網にはコイ科魚類の稚魚が数千匹入っていましたが、バス稚魚やブルーギルも入っていたため、外来魚のみを取り除き、その他の魚は沼に返しました。



←人工産卵床に集まった
ヌマチチブとモツゴの稚魚

バス稚魚すくいの様子。大
きな群れはありませんで
した。→



←定置網に入った魚。
モツゴ、タモロコ、コイ、フ
ナ類、ヌマチチブ、トウヨシ
ノボリ、ジュズカケハゼ、カ
ネヒラ、タイリクバラタナゴ、
ビワヒガイ、オオクチバス、
ブルーギル、テナガエビ、
ヌカエビなど...。

バス・ギルの選別作業→



次回のバスターズ（今年度最終回）は、6月29日（日）に行ないます。
みなさまのご参加お待ちしております！